

文部科学省 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
「GASSHUKU（合宿）とDOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成
「韓国での多文化共修による課題解決型実習」授業に関する履修者の追加募集について

1 概要

筑波大学は、令和6年11月に文部科学省より大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業「GASSHUKU（合宿）とDOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成（以下、「SI事業」とします）」に採択され、多様な取り組みを進めています。GASSHUKU（合宿）とは、国内で実施する多文化共修プログラム、DOJO（道場）とは海外で実施する多文化共修プログラムのことを示します。

T-ACT 推進室では、①韓国・全州市（令和8年2月実施）、②韓国・済州市（令和8年3月実施）を舞台に、現地の大学生と多文化共修を行う授業を開設いたします。参加学生は4泊5日程程度の韓国での研修プログラム（別途、事前・事後研修を含む）に参加し、日本と韓国の学生が混合でチームを組んで、両国に共通、または地球規模の課題に対し、互いの国の知見・資源等を活用して解決するソーシャルビジネスのアイデアを構想します。

本プログラムを通じて「課題発見および解決能力、異文化コミュニケーション能力、チーム協業能力」を備えたグローバル人材に成長し、学生の皆さんのキャリアデザインの道標になることを願っています。社会的課題にアプローチし、ソーシャルインパクトの創出を図る、新しい価値の創造体験にご関心のある参加学生を募集しますので、ぜひご検討ください。

【プログラムの詳細と申込はウェブサイトをご参照ください。】

① 韓国・全州市（令和8年2月実施） <https://miraefactory.jp/2025jeonju>

② 韓国・済州市（令和8年3月実施） <https://miraefactory.jp/2025jeju>

申込期間：令和7年11月25日（火）09:00～12月02日（火）17:00（期限は各授業共通です）

※追加募集による参加者が確定次第、募集を途中で打ち切る場合があります。

2 参加に関するご案内

日 程：① 1/27（火）、2/3（火）、**2/22（日）～2/28（土）**、3/6（金） ※詳細は別紙参照

② 1/27（火）、2/3（火）、3/16（月）～3/22（日）、3/27（金）※変更可能性あり

場 所：① 韓国・全州市内ほか（全北大学、韓屋村など） ② 韓国・済州市内ほか（済州大学ほか）

宿 泊：① 全北大学内の大学宿泊施設 ② 済州大学内の大学宿泊施設

人 数：① **若干名** ② **若干名**

対 象：・本学の学類生及び博士前期課程の学生 ※留学生歓迎・国籍不問

- ・日韓交流や国際交流など多文化共生社会の実現に関心のあること
- ・今後グローバルなマインドを持って活躍する目標があること
- ・地方創生、ソーシャルビジネスに関心があること
- ・韓国語または英語による日常会話が可能なこと（流暢でなくても申請可能）。

参加費：① 8万円程度 ② 10万円程度

※①、②とも、本学の海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の多文化共修活動参加支援（東アジア6万円）による支援が決定した事業です。

3 プログラムについて（各授業共通）

<授業名>

学類生：【8331183】多文化共修による課題解決実習（海外）B（1単位/秋学期随時）

院 生：【0A00323】多文化共修による課題解決実習（海外）（1単位/春学期・秋学期随時）

→ 授業担当教員：李 健實（筑波大学 T-ACT 推進室 助教）

<授業概要>

昨今、日本と韓国は少子高齢化や首都集中、またオーバーツーリズムといった共通の課題に直面しています。地方創生や地方都市の魅力を再発見し観光客を誘致、地域住民と共生できる環境を整えることは、少子高齢化や首都集中などの課題を解決する方策の一つとして考えられます。両国の地方都市間交流、地方創生などの観点から日韓の学生が共にフィールドワークを行い、課題発見、解決策の模索・検討、解決案の提示を通じた多文化共修を提供します。

<履修登録>

この授業の履修は志願書に基づく選抜を行います。追加募集による参加決定者に対して12月5日（金）ごろを目処に、個別に通知します。申込書が提出された時点で、参加が決定した場合、原則として履修するものとみなし、原則として、履修の解除は認められません。なお、履修登録は授業担当教員が行うので、皆さんが登録する必要はありませんが、何か相談されたいことがありましたらご連絡ください。

<単位及び修了認定について>

この授業では単位の認定に加え、全日程に参加し、所定課程を修めたと認める者には、JV-Campus を通じてデジタル・オープンバッチ（ゴールド）を発行します。デジタル・オープンバッチの有効活用方法については下記サイトを参照ください。

<https://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp/global-start-uppers/jp/>

4 その他

授業では、記録及び広報のため、活動の様子を写真及び動画の撮影を行いますので、予めご承知おき願います。

<授業内容に関する問い合わせ>

李 健實（助教）lee.geonsil.gf@u.tsukuba.ac.jp

<履修全般に関する問い合わせ>

学生生活課 T-ACT 推進室 多文化共修担当（寶積）

E-mail: kkyoshu.tact.ut@gmail.com / TEL: 029-853-2269

別紙 1

① 韓国・全州市（令和8年2月実施）

日程	内容
令和8年1月27日（火） 7限（18:15-19:30） @筑波大学（対面）	＜オリエンテーション＞ 渡航に関する諸注意など
令和8年2月3日（金） 7限（18:15-19:30） @筑波大学（オンライン）	＜事前研修＞ 多文化共修プログラムに参加する上で必要な異文化コミュニケーションの理論と導入を概観する
令和8年2月22日（日） 14:00 現地集合 @仁川国際空港	＜対面研修＞ 移動（仁川国際空港→全州市）※大学でバスを借ります 参加登録、宿舎入居
令和8年2月23日（月） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ チーム作り、韓国文化体験（国立無形文化院） フィールドワーク（全州市内：韓屋村など）
令和8年2月24日（火） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 特別講演（全北大学、韓国側行政機関）※予定 チーム活動（PBL）
令和8年2月25日（水） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 全北大学キャンパスツアー、特別講演（日本側行政機関）※予定 フィールドワーク（全州市内：韓屋村など）
令和8年2月26日（木） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 特別講演（民間企業）※予定 チーム活動（PBL）・最終発表に向けた準備
令和8年2月27日（金） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 最終発表会、全体会食
令和8年2月28日（土） 14:00 解散 @仁川国際空港	＜対面研修＞ 移動（全州市→仁川国際空港）※大学でバスを借ります
令和8年3月6日（金） 7限（18:15-19:30） @筑波大学（オンライン）	＜事後研修＞ プログラム全体の振り返りを個人そしてチームメンバー間において省察するとともに今後のキャリアデザインを展望する

別紙 2

② 韓国・済州市（令和 8 年 3 月実施）

日程	内容
令和 8 年 1 月 27 日（火） 7 限（18:15-19:30） @筑波大学（対面）	＜オリエンテーション＞ 渡航に関する諸注意など
令和 8 年 2 月 03 日（火） 7 限（18:15-19:30） @筑波大学（オンライン）	＜事前研修＞ 多文化共修プログラムに参加する上で必要な異文化コミュニケーションの理論と導入を概観する
令和 8 年 3 月 16 日（月） 14:00 現地集合 @済州国際空港	＜対面研修＞ 移動（済州国際空港→済州市内）※大学でバスを借ります 参加登録、宿舎入居
令和 8 年 3 月 17 日（火） 10:00-18:00 @西帰浦市内	＜対面研修＞ チーム作り、韓国文化体験 フィールドワーク（西帰浦市内など）
令和 8 年 3 月 18 日（水） 10:00-18:00 @済州市内	＜対面研修＞ 特別講演（済州大学、韓国側行政機関）※予定 チーム活動（PBL）
令和 8 年 3 月 19 日（木） 10:00-18:00 @済州市内	＜対面研修＞ 済州大学キャンパスツアー、特別講演（日本側行政機関）※予定 フィールドワーク（済州市内など）
令和 8 年 3 月 20 日（金） 10:00-18:00 @済州市内	＜対面研修＞ 特別講演（民間企業）※予定 チーム活動（PBL）・最終発表に向けた準備
令和 8 年 3 月 21 日（土） 10:00-18:00 @済州市内	＜対面研修＞ 最終発表会、全体会食
令和 8 年 3 月 22 日（日） 14:00 解散 @済州国際空港	＜対面研修＞ 移動（済州市内→済州国際空港）※大学でバスを借ります
令和 8 年 3 月 27 日（金） 7 限（18:15-19:30） @筑波大学（オンライン）	＜事後研修＞ プログラム全体の振り返りを個人そしてチームメンバー間において省察するとともに今後のキャリアデザインを展望する

※日程案は変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。